

# 図画工作科学学習指導案

横浜市立磯子小学校  
安藤 淳也

1. 日時・場所 平成27年1月28日(水) 5校時 図工室

2. 学年・組 第6学年3組 27名

3. 「学習の主題」から題材へ

## 学習の主題

「活動したことや表現したもののよさや美しさを感じ取ることを楽しむ。」

B 鑑賞(1) 作品などを鑑賞する活動

## 子どもたちの姿

豊かで自由な発想をする児童が少ない。  
柔軟な発想やイメージを広げたりしながら  
作品を仕上げようとする児童は少ないが、  
活動には意欲的に取り組む。美術作品の鑑  
賞する活動では楽しみながら取り組んだ。

## 教師の願い

物事をいろいろな角度から見たり、試行  
錯誤したりしながら作品をつくる活動を楽し  
んでほしい。  
友だちの作品のよさや美しさを感じ取れ  
るようになってほしい。

## 題材名

## 「瞬間コレクション」

～さまざまなものの見方を発見し、友だちに紹介しよう～

## 題材目標

○創造的に表現したり、鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。  
○さまざまな見方を効果的に取り入れながら、イメージに合わせて撮影し、撮影した画像を構成する  
ことで新たな見方を発見し、自分の世界をより深く表せるようにする。

## 題材について

本学級の児童は、意欲的に学習に取り組み、発表の場面では自分の考えを的確に話すことができる児童も多い。しかし、発表や自分の意見をまとめることに対して、自信がもてない児童も見られる。グループ学習の中で交流し、学習を進めることができています。

想像して作ることが好きで、自分たちのキャラクターをつくったり、描いたりする活動を楽しんだり、墨絵では、さまざまな技法を使い、描きたいものを描いたりすることができています。しかし、構成や構図を考えたりする経験は少ない。

本題材は心を開いて友達のことを知り、材料体験をする題材である。  
ここでは、デジタルカメラで「びっくり」「不思議」「すてき」などのキーワードをもとに発見した「瞬間(場面や被写体)」を撮影する活動を通して、身近なものを新しい見方で見つめ直す内容である。普段気づかなかった自然物や人工物がもつ造形や動きのおもしろさを発見する視点から出発し、さらにイメージを広げて自らその「瞬間」をつくり出す視点(例:遠近感による錯視)へと活動が展開することを期待したい。

#### 4. 研究テーマとのかかわり

「児童の情報活用能力を高める指導の在り方」

- ① 各教科、各領域、総合的な学習の時間の中において、児童が様々な情報に触れる場面で、どのような指導が必要か。(情報選択、情報モラル)
- ② 児童が学習の手段として、情報機器を適切かつ効果的に活用できるためには、どのような指導が必要か。

○活用する視聴覚機器… デジタルカメラ、PC、プリンタ、実物投影機、デジタルテレビ

- ① について…本単元では、デジタルカメラを使って、構図や題材を工夫した写真を撮り、友達と鑑賞し、創造的な作品をつくり、出来上がった作品を鑑賞する活動である。デジタルカメラの使い方、PCで写真を提示する方法、写真の保存や印刷の方法を確認し、時間内で効果的に扱えるようにしたい。何度も撮り直したり、多くの写真を撮り貯めたりすることができるデジタルカメラのよさを生かし、撮り方や見方を工夫した写真を撮影する学習を進めていく。必要な写真を選んだり、組み合わせたりする活動を通して、多くある情報を選択することや写真の組み合わせ方の配慮について指導していきたい。
- ② について…デジタルカメラの操作には慣れており、学習の様々な場面で活用してきている。しかし、積極的に触っている児童とそうでない児童がいる。社会や総合の調べ学習でインターネットの検索を行うなどPCの操作にも慣れている児童が多い。デジタルカメラでの撮影を全員が経験できるように時間を確保していく。自分たちで構図を考えてデジタルカメラで撮影することや撮影した写真をPCに取り込み、印刷することを児童が経験できるようにしたい。実物投影機を使ったり、PC を使ったりして、発表できるように指導していきたい。

#### 5. 題材の評価規準

【関】ものの新しい見方を発見したり、自らおもしろい見え方をつくり出したりすることを楽しむ。

【発】写り方を予想したり、写ったものから想像を広げたりしながら、自分なりの見方を考える。

【創】デジタルカメラのもつ長所や短所を生かして、新しい撮り方や見方を工夫する。

【鑑】互いの作品を見合い、見方のおもしろさや工夫のよさに気づき、共感する。

デジタルカメラで撮影する活動を通して、身近にある形や色のよさ、動きや奥行きによる見え方のおもしろさを感じ取り、これをもとに自分のイメージを広げる。

#### 6. 指導と評価の計画（4時間 本時 3／4）

- ア. デジタルカメラの操作になれ、不思議な瞬間を試しに撮影する。……………45分
- イ. 身近なものを新しい見方で撮影し、いろいろな「瞬間」を集める。……………45分
- ウ. 友だちと協力して、撮影した写真を組み合わせたり、新たに撮影したりする。……………45分
- エ. 集めたりつくり出したりした「瞬間」を発表し合い、互いの見方の良さを感じる。……………45分

| 時         | 子どもの学習活動                                                                                                                                                               | 評価規準   | 教師の指導                                                                                                                                                                                               |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1         | <div>ア この「不思議な瞬間」はどうやって撮影したのだろう？デジタルカメラで遊んでみよう。</div> <div>○カメラ撮影への意識を新たにする</div> <div>○デジタルカメラの操作に慣れながら、自分らしいものの見方や撮り方を探す。</div>                                      |        |                                                                                                                                                                                                     |
|           |                                                                                                                                                                        | 関      | <div>○単なるポートレート撮影にしないために、活動を通して、「手振れ」や「指の写り込み」などが新たな表現方法になることを感じさせる。</div> <div>○これまでに見たことのないような不思議な写真を実際に見せて、写真への固定観念を崩し、自由な発想をして良いことを伝える。</div> <div>○プロのカメラマンから写真の撮り方や注意することなどをレクチャーしてもらう。</div> |
| 2         | <div>イ みんなの身近にある「びっくり」「不思議」「すてき」など、いろいろな瞬間を撮りに行こう。</div> <div>○身のまわりで見過ごしているものにひそむ美しさやおもしろさを探そうと、さまざまな視点で撮影し、そのよさに気づく。</div> <div>○撮影した画像イメージだけでなく、ほかの表現にも興味をもつ。</div> |        |                                                                                                                                                                                                     |
|           |                                                                                                                                                                        | 発      | <div>○学習課題を明確にする。</div> <div>○カメラ撮影のアングルだけではなく、被写体のもつ多様な表情について関心を向けられるように声かけを行う。</div>                                                                                                              |
| 3<br>(本時) | <div>ウ 写真の撮り方や組み合わせ方を工夫して、もっと不思議な写真をつくってみよう。</div> <div>○写真の組み合わせ方を考え、切ったり、はったりして新たな作品をつくる。</div> <div>○新しい見方で撮影する。</div>                                              |        |                                                                                                                                                                                                     |
|           |                                                                                                                                                                        | 発<br>創 | <div>○台紙を数色用意しておく。</div> <div>○組み合わせたり、はり合わせた写真に合うように新たな写真を撮影したりしてもよいことを伝える。</div>                                                                                                                  |
| 4         | <div>エ 集めたりつくり出したりした「瞬間」を発表し合い、友だちの見方の良さを見つけよう。</div> <div>○自分たちやほかの班の作品や資料の見合いながら、組み合わせ方のよさを感じる。</div>                                                                |        |                                                                                                                                                                                                     |
|           |                                                                                                                                                                        | 鑑      | <div>○名札や資料などを準備し、鑑賞への意識を促す。</div> <div>○鑑賞カードや一言メッセージなどを使い、友だちのよさを発表し合えるような場をつくる。</div>                                                                                                            |

## 8. 本時の目標

自分の選んだ表現方法のよさを効果的に生かしながら、写真のもつイメージをさらに広げて表現することができる。

## 9. 本時の計画

| 子どもの学習活動                                   | 具体の評価規準と評価方法                                                                                                                    | 教師の指導・支援                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 前時の内容をふりかえる。                            |                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・PC、テレビ、デジタルカメラ、実物投影機を用意する。</li> <li>・3人で1台のデジタルカメラを用意し、グループの机にはPCを用意する。</li> </ul>                                                                    |
| 2. 前回撮った写真から見つけたいろいろな見方を発表する。              |                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が撮影した写真を印刷しておく。そのほかの写真はPCのフォルダから自由に閲覧できるようにしておく。</li> </ul>                                                                                         |
| 3. 本時の課題を把握する。                             |                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・PCや実物投影機を使って発表できるように声をかける。</li> </ul>                                                                                                                 |
| 写真の撮り方や組み合わせ方を工夫して、もっと不思議な写真をつくってみよう。      |                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                               |
| 4. 新しく撮影をしたり、印刷した画像を工夫したりして、自分なりの見方をより深める。 | <p>【発】撮影した画像の中から自分のテーマを設定してどの写真を組み合わせるかを考えたり、テーマに合わせて新たな写真を撮ったりする。</p> <p>【創】自分の選んだ表現方法のよさを効果的に生かしながら、写真のもつイメージをさらに広げて表現する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3人で1台のデジタルカメラを持ち、校舎内外に出かけ、いろいろな場所のおもしろさや遠近感の錯視によるおもしろい瞬間を作り出して撮影できるようにアイデアを提示する。</li> <li>・活動時間は25分程度切り取る際に、被写体（人物）の画像が切り離されることがないように配慮する。</li> </ul> |
| 5. 本時のふりかえりをする。                            |                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は今回作った作品を友だちにおすすめの1枚として紹介する活動を確認する。</li> </ul>                                                                                                      |

## 9. 場の設定

